



釧公大だより

A Aurora



「タンチョウ」作者：荒関 優志（経済学科4年）

東日本大震災により被災された学生に対し、引き続き経済的支援を行っています。

この震災により入学金や授業料の納付が困難となった学生に対して、入学金の免除や授業料の減免を行っています。

ご相談については、事務局学生課までお問い合わせください。

CONTENTS

学長メッセージ	2
新任教員紹介	3
公開講座のご案内	4
企業連携・オープンキャンパス	5
就職戦線最新情報・ キャリアセンターだより	6
活躍する公立大生・活躍する教員	7
インフォメーション・保健室だより	8



手入れと管理

釧路公立大学学長 小 路 行 彦

手入れが入ったといえば、警察が捜査に入ることである。本学の話ではないが、今話題なのは、学生の大麻使用で、ある大学に警察の手入れが入ったことである。今までも話題を提供し続けてきたが、これからも話題を提供し続けるのであろうか。かつて学生によって大学解体と叫ばれた大学だと記憶しているが、半世紀以上たって、自壊してしまったということなのだろうか。日々手入れをすることが仕事の大学に、手入れが入ったというのは悪い冗談だが、大学による手入れは、同じ手入れでも意味は全く異なる。

日本の文化は手入れという思想に支えられているという。自然に手入れをした空間が里山であり、それは手入れをしない自然よりも豊かな自然になっていると評価される。自然と人間を媒介する行為が手入れということなのである。手入れという思想は、自然への行為から転じて、様々対象に広がっている。道具の手入れという表現もよく使う。辞書には、手入れとは、なおすこと、繕うこと、世話をすることとある。道具は生き物ではないからなおす手入れの意味かといえば、どうもしっくりこない。やはり世話をするであろう。道具はあたかも生き物のように、使われることによってその機能が良くなっていく、また良くなるように手入れをするのである。人間関係の手入れ、さらに広げて歴史への手入れという使い方は可能であろうか。この夏に、弟子屈神社の祭りを見学する機会があった。突然の大雨で恒例の獅子舞は途中で取りやめとなってしまっていて、獅子をみることができなかったが、大雨の中を担がれていく神輿にはかえって祭りの熱気を感じる事になった。神社の祭りは自然に還った先祖と繋がる機会だが、それは地域の間人間関係や歴史に手入れをすることに

繋がっているのではないかと思われた。

開学から20年ほど毎年植樹祭を行い、大学のキャンパスに木を植えてきた。湿原を造成したところに里山をつくろうという試みである。それが一息ついて15年。開学当初植えた木は35年を経て寿命を迎えているものもある。あちこちに、枯れた樹木が散見されるし、剪定した木が結局枯れてしまっていて無残な姿を晒しているものもある。大学に限らず、地域の至る所で、手入れが行き届いていない場所に出くわす。寄贈してもらったものの、今では荒れ果ててしまった公園、立派な石で作られているのがかえって仇になっている雑草が生い茂った池、舗装が剥がれてでこぼこになったテニスコートなど、人口減少と財政難でそれどころではないという面があるのも分かるが、それでも悲しい。どんなに立派なものでも、手入れを怠れば使えなくなってしまうのである。大学では法人化という機会を得て、木の植え替えを構想している。10年後にどんなキャンパスになるか楽しみである。

大学が行っている手入れは、キャンパスの自然だけではない。学生への教育そのものが手入れの思想に支えられたものである。教育の大事な一部をなす「育む」は、手入れの思想そのものであろう。自由に伸びていってよいのだが、それには方向性とまとまりも必要であろう。その試行錯誤が行われる場が大学ではないか。教と育はそのバランスが重要であろう。学生に知の獲得だけではなく、知の創造を求めるなら育の面こそ重要ではないかと思う。質保証とともに求められている「管理」の強化においても、手入れの思想と融和したものでありたいと願うのだが、それは本学のような規模の大学においてこそ、可能なのではないかと思うのである。



「新任のご挨拶」

准教授 岡 田 登

(担当科目：地域経済論、政策・経済事情特殊講義A、地域産業論A)

本年度より着任いたしました岡田登と申します。専門は経済地理学、農業地理学であり、特に農村地域の持続的な発展を目指して研究しています。本学では地域経済、地域産業政策、農業政策に関する講義を担当しており、地域経済構造の理論と分析方法、国土政策の展開と地域間格差の現状、まちづくりに関する地域政策、食料・農業・農村政策について講義しています。

私は大学院で博士学位を取得後、地元群馬県の市役所に勤務しておりました。業務を遂行するなかで実務と研究の乖離を強く感じ、この経験を通して政策的または実務的に有効な研究を意識するようになりました。その後、全国第2位の農業生産額である鹿児島県で大学教員をスタートして農業・農村研究を進めました。この度、全国第1位の農業生産額を誇

る北海道の本学に着任でき光栄に思います。

本来、釧路地域は自然資源を活用した産業によって成立していたと考えます。この中でも第一次産業の農林水産業は釧路地域にとって重要な基盤産業であり、これらの関連産業も含めて、今後も地域経済の中核を担っていくと考えます。このためゼミではフィールドワークを実施し、釧路地域において農林水産業を中心としながらも、これらの関連産業であるアグリビジネス（第二次・第三次産業）まで包括的に捉えて地域経済の状況を理解し、農林水産業を核とした地域づくりの可能性を探ります。また、農林水産物を通して農村と都市を効果的に結び付け、都市で農村の魅力を伝えるなど、両者が連携する方策についても考えます。何卒よろしくお願い申し上げます。



「新任のご挨拶」

講師 村 上 沙 織

(担当科目：経済発展論、国際開発経済論、教養科目特殊講義A、外国書講読B)

本年度より着任しました村上沙織です。専門は「正義の理論と実践」です。釧路公立大学では、経済発展論、国際開発経済論、ジェンダーと社会等の科目を担当しています。このように自己紹介をすると「あら、難しいことを研究しているんですね」と言われることが多々あります。まるで別次元の話をしているかのようです。しかし、これらのテーマは我々の日常生活とは切り離せない身近なものなのです。

例えば、「日本のGDP（国内総生産）がXX%成長した」というニュースが報じられるとします。さて、これは喜ぶべきニュースでしょうか？ GDPが成長すれば日本国内の所得も増加するので、良いことではあるでしょう。しかしながら、GDPは一国内の所得不平等については何も語ってくれません。また、GDPが成長したからといって環境破壊や女性・LGBTQ+（性的少数者）差別やいじめ問題が解決されるわ

けではありません。GDPに体现される「資源・お金」は人間が人間らしく生きるための手段でしかなく、重要なのはその手段で何をするかということです。そして政策立案・実施には、倫理的な問い（つまり、だれを救うのか、だれを見捨てるのかという問い）が不可分です。

私は過去にインド、スリランカ、タイのNGOや開発機関で貧困削減や女子教育機会拡大に関するプロジェクトに携わってきました。現場では幾度となく倫理的な問いと格闘し、正義について考えてきました。釧路公立大学での教育活動では、自らの実体験を交えながら、英国で修めた社会政策科学の知見を、学生に伝えていきたいと思っています。そして、学生には「あたりまえ」を鵜呑みにせず、物事を多角的かつ批判的に分析できる力を身に付けてもらいたいと思っています。

表紙作品解説 「タンチョウ」

作者：経済学科4年 荒関 優志

「釧路」という地域で浮かぶモチーフとして、「タンチョウ」、「太陽」の二つがとても強いイメージとして浮かんだのでそれを題材として制作しました。

タンチョウの特別天然記念物としての希少性、またそれゆえの要保護性、影絵のように儚く消えてしまうことがないように、という意味を込めて、黄色と黒の組み合わせである警告色を手のデザインに用いました。

美しい自然、豊かな生物多様性が存続されていくのを願うばかりです。

令和5年度釧路公立大学公開講座

共通テーマ

「社会科学が拓く未来
～社会課題への挑戦～」

■金子 康朗 教授

講演テーマ ネット検索・生成系AIの時代と心理学リテラシー

概要 暴力・戦争や拝金主義のはびこる時代に暢気に心理学・認知科学を語る気持ちにはなかなかありませんが、この公開講座では、戸田正直(1992)「人間性の理解に向けて」というわずか2ページの文章に希望の手がかりを探りながら、心理学・認知科学とその関連領域の知見を具体的に学びつつ、「知識」に関して研究が陥りがちな誤りとそこから逃れる方法を心理学リテラシーという見出しの下でまとめて考えてみたいと思います。

■宮下 徹 教授

講演テーマ マクロ経済学と日本経済

概要 改めて近年の日本経済について思い巡らしてみますと、連日のように様々なメディアで報道される少子化・高齢化をはじめ、長期停滞につながったバブルの発生と崩壊、景気浮揚を目指す財政・金融政策、さらに為替レートや物価の変動…など、たちどころに多くの事柄が浮かんできます。これらを概観し、また幾つかのトピックについては、ときに過去に遡り歴史的な事実を参考にするなどしつつ、マクロ経済学の視点や道具立てを用いて考えてみます。

■川島 啓 准教授

講演テーマ 地域にお金は落ちるのか？
地域経済循環と経済効果

概要 経済効果として公表される数値はどのようにして計算されるのか？

それらは本当に地域に落ちる「お金」なのか？

経済効果の考え方と適用の限界、本当に地域にお金が残るためには何が大切なのかについて地域経済循環の観点から分かりやすく解説します。

■上山 一 准教授

講演テーマ 原油市場の回顧と展望
～原油価格の変動要因を探る～

概要 新型コロナウイルス禍からの経済の正常化が進む中、2022年の原油価格は、上半期に大幅に上昇したものの、下半期には世界経済への減速懸念から下落に転じるなど、値動きの大きい展開となった。

現状の原油価格は、世界経済の減速懸念と産油国による減産スタンスから、底堅い推移を示している。

本講座では、近年の原油市場の動向を振り返るとともに、原油価格の変動要因について検討する。

■釧路公立大学公開講座 1回目

日時	9月29日(金) 18:30~20:00
場所	釧路公立大学 1階 大講義室1
講師	川島 啓 准教授
演題	地域にお金は落ちるのか？ 地域経済循環と経済効果

■釧路公立大学公開講座 2回目

日時	10月4日(水) 18:30~20:00
場所	釧路公立大学 1階 大講義室1
講師	宮下 徹 教授
演題	マクロ経済学と日本経済

■釧路公立大学公開講座 3回目

日時	10月6日(金) 18:30~21:00
場所	釧路市交流プラザさいわい 多目的ホール(大)
講師1	金子 康朗 教授
講師2	上山 一 准教授
演題1	ネット検索・生成系AIの時代と心理学リテラシー
演題2	原油市場の回顧と展望 ～原油価格の変動要因を探る～

■釧路公立大学公開講座 4回目

日時	10月11日(水) 18:30~20:00
場所	釧路公立大学 1階 大講義室1
講師	上山 一 准教授
演題	原油市場の回顧と展望 ～原油価格の変動要因を探る～

■釧路公立大学公開講座 5回目

日時	10月13日(金) 18:30~21:00
場所	釧路市音別町コミュニティセンター 研修室
講師1	宮下 徹 教授
講師2	川島 啓 准教授
演題1	マクロ経済学と日本経済
演題2	地域にお金は落ちるのか？ 地域経済循環と経済効果

■釧路公立大学公開講座 6回目

日時	10月18日(水) 18:30~20:00
場所	釧路公立大学 1階 大講義室1
講師	金子 康朗 教授
演題	ネット検索・生成系AIの時代と心理学リテラシー

- ・大会会場：釧路公立大学 1階 大講義室1
釧路市芦野4丁目1番1号
- ・釧路市会場：釧路市交流プラザさいわい
多目的ホール(大)
釧路市幸町9丁目1
- ・音別町会場：音別町コミュニティセンター 研修室
釧路市音別町中園1-78
- ・受講無料
- ・対象 高校生以上
- ・受講方法 お申込みの必要はありません。
- ・お問合わせ 釧路公立大学 総務課

企|業|連|携

「公立大学法人釧路公立大学と釧路信用金庫の連携と協力に関する協定」の締結

2023（令和5）年6月28日に公立大学法人釧路公立大学と釧路信用金庫との間で、法人化後初となる地元金融機関との「連携と協力に関する協定」を締結しました。

締結式には、本法人の名塚理事長と釧路信用金庫の森村理事長が協定書に署名し、今後の連携協力強化を確認しました。

この協定は、本法人と釧路信用金庫が様々な地域課題に対応した連携協力を実施し、地域社会の発展に寄与することを目的に締結され、（1）地域における人材確保・育成に関すること（2）地域における金融リテラシーの向上に関すること（3）地域経済の活性化・発展に係る支援に関すること（4）その他相互に連携・協力が必要と認められる事業に関することの4つの連携・協力事項

項について、今後、様々な取組を実施していくことになりました。

（連携協定の関連事業）

- 1 釧路しんきん地域人材育成奨学金制度の創設
- 2 金融教育講座の開催



オ|ー|プ|ン|キ|ャ|ン|パ|ス

令和5年度のオープンキャンパスを8月5日（土）に開催いたしました。昨年度に引き続き、大学に直接ご来場いただく対面型と、ライブ配信をご視聴いただくオンライン型にて実施し、対面では高校生と保護者等を合わせて249名、オンラインでは49名の方にご参加いただきました。

神野教授、加藤教授、小阪准教授による「授業紹介」や、4年生が大学生活全般についての体験談を話す「大学生本音トーク」など、本学の雰囲気・魅力を感じていただけるプログラムを実施いたしました。また、学食を体験してもらう「キャンパスランチ」が4年ぶりに復活したほか、学内を見学する「キャンパスツアー」も実施し、参加者から4年生の親切・丁寧な対応に感謝のお声をたくさんいただきました。当日ご協力いただいた4年生の皆さん、本当にありがとうございました。

今回のライブ配信は、YouTube（下記QRコード）にてアーカイブを公開しております。このほか、今年度作成したプロモーション動画なども本学のYouTubeチャンネルにて公開しておりますので、お時間のある際にぜひご覧ください。



●OCアーカイブ動画



●YouTubeチャンネル

就 | 職 | 戦 | 線 | 最 | 新 | 情 | 報

卒業予定者の内定先リスト (現在の内定状況) 2023/09/13

- 建設業** 一条工務店、カワムラ、ネクスコ・メンテナンス新潟、北海電気工事、ミサワホーム北海道、宮坂建設工業、ロゴスホーム
- 製造業** ケイシイシイ、総合商研、高木酒造、タカラスタンダード、帝人、トンボ、マリンフーズ、もりもと
- 卸売・小売業(卸売業)** 英和、エプソン販売、国分北海道、杉山商会、田中商事、千代田テクノル、PALTAC、北海道インダ、北海道ジェイ・アール商事、ムトウ
- 卸売・小売業(小売業)** アインホールディングス、あさひ、イオン東北、イオン北海道、カインズ、スズキ自販新潟、セコマ、DCMニコット、徳永薬局、ニトリ、日本ニューホランド、ネットトヨタ苫小牧、ホンダ四輪販売北海道、ラルズ、リコージャパン
- 金融・保険業** あいおいニッセイ同和損害保険、岩手県信用農業協同組合連合会、帯広信用金庫、釧路信用金庫、損害保険ジャパン、大地みらい信用金庫、東京海上日動火災保険、東北銀行、ニッテレ債権回収、日本銀行、日本政策金融公庫、北洋銀行、北海道銀行、北海道信用漁業協同組合連合会、北海道信用農業協同組合連合会、北海道信用保証協会、明治安田生命保険
- 電力・ガス** エネサンス北海道、釧路ガス、日本原燃

- 運輸・情報通信** アイビーシー岩手放送、アクセンチュア、AKKODiSコンサルティング、エイチ・アイ・デイ、エイチ・シー・シー、SOC、NECソリューションイノベータ、NTTデータビジネスシステムズ、キーマネジメントソリューションズ、シイエヌエス、ジャパントクニカルソフトウェア、センコー、全日本空輸、苫小牧埠頭、日本システムコンサルタント、日本通運、パーソルプロセス&テクノロジー、ハイマックス、フラワーヒルズ、ミツ輪運輸、ヤマト運輸、リンクス
- 不動産業** IDOM CaaS Technology、インテリックス、共立メンテナンス、大東建託パートナーズ、Mirai Arc
- サービス** 帯広市川西農業協同組合、学習塾あすなる会、きたみらい農業協同組合、全国農業協同組合連合会岩手県本部、タウンライフ、東武トップツアーズ、日本航空、ネオキャリア、日本キャタピラー、ヒューマンリソシア、ホクレン農業協同組合連合会、星野リゾート・トマム、北海道漁業協同組合連合会、北海道農業共済組合、マイナビ、芽室町農業協同組合、吉岡経営センター、れんせい
- 国家公務** 国税庁(札幌国税局)
- 地方公務** 旭川市消防、帯広市役所、久慈市役所、釧路市役所、札幌市役所、札幌市役所(消防)、土幌町役場、斜里町役場、中札内村役場、北海道警察、北海道庁

キ | ャ | リ | ア | セ | ン | タ | ー | だ | よ | り

希望の進路実現に向けて

リクルートワークスによると、来春2024年3月卒業予定の大卒求人倍率は1.71倍(前年1.58倍)。
 これは“全国の民間企業の求人総数÷全国の民間企業就職希望者数”で算出されていますが、24卒対象の求人総数は77.3万人(前年70.7万人)、就職希望者は45.1万人(前年44.9万人)で、単純計算だと、全員めでたく就職決定でもまだ、32.2万人分の仕事が未充足という“売り手市場”です。
 しかし、学生達の苦労は絶えません。
 いろいろ理由はありますが、学生を取り巻く様々な就活情報が、学生たちを“自縄自縛”にしていることも大きな理由の一つです。
 『肉まん・あんまん、あずきバー』の井村屋HLDの中島伸子会長はアルバイト入社で、「仕事をしているうちに会社のことが好きになった」のだそうです。最近はこの話を引き合いに出して、学生たちにもっとシンプルに“考動”することを勧めています。

後期に実施する就職対策事業

10月	公務員の仕事を知る講座 業界・企業を知る講座 就活スケジュールリング&WEB選考対策講座 ミニ業界研究会 TOEIC I P 試験 履歴書対策講座・添削 企業訪問報告会 一般常識対策模擬試験 OB・OGに聞く～仕事のアレコレ～(民間企業) エントリーシート攻略講座・添削
11月	グループディスカッション対策講座 模擬グループディスカッション OB・OGに聞く～採用担当者が考える「こんな人が欲しい!」～ WEB SPI 受検会 内定者による就職相談会 面接対策講座 模擬面接(集団) OB・OGに聞く～仕事のアレコレ～(公務員) 模擬面接(個人)
12月	ビジネス検定試験 大人から見た企業研究講座 業界研究会 公務員試験説明会

硬式野球部

部長 経済学科3年 近藤 久麻

こんにちは、釧路公立大学硬式野球部です。現在「I部昇格」を目標に掲げ、部員24名で日々練習に励んでいます。

まず、大学野球の公式戦は主に春と秋に行われています。ここ北海道から九州・沖縄まで全国に26のリーグがあり、それぞれのリーグ内で試合は行われます。私たちが所属するのは「北海道リーグ」ですが、最も有名なのは「東京六大学リーグ」でしょうか。歴史と文化のある大学野球には、高校野球とはまた違った面白さがあると感じます。

違った面白さとは、例えば甲子園ボーイやプロ注目選手とともにプレーや試合をすることだと思います。現在私たちはII部に所属していますが、I部はかなりレベルが高く、注目選手も多くいます。また木製バットを使用するためプロ野球とほぼ同じルールで行われています。

さて私たちの活動ですが、北海道中の大学はもちろん、社会人野球チームや高校野球、また中学生とも試合や練習をする機会をいただいております。幅広い層との交流を心がけています。これは自分たちの練習としてももちろんですが、野球人口の増加や地域の野球熱を盛り上げていこうと、まずは身近なところから取り組んでいます。また、チーム内では人数が少ないことから、話し合いをより重視しており、より多くの部員が納得できる形で物事を決めています。活動内容を自分たちで決めて行動することで主体性を高められるなど、良い経験をさせてもらっています。なにより、充実した大学生活を野球を通して送れることにとてもやりがいを感じています。



活躍する教員

海外研修を通して

2022年9月はじめから1年間、私は中国の西安工程大学の李丹准教授に招待され、共同研究および学術調査を行いました。この期間中、私は充実した学術成果を達成しました。李丹准教授との頻繁なコミュニケーションと努力により、私たちは論文を共同執筆し、2023年8月にSSCIジャーナル「Metroeconomica」に掲載されました。同時に、西安交通大学の陳舒霄博士とも共同研究を行い、私たちの論文は2023年5月にSSCIジャーナル「Japanese Economic Review」に掲載されました。この海外研修は私と中国の学者との学術交流を促進し、将来のさらなる協力の基盤を築く役割を果たしました。

西安市は中国北西部に位置し、かつて長安と呼ばれていました。秦の始皇帝による六国統一、漢の武帝による張騫の西域派遣など、中華文化の伝承を担ってきました。過去には秦や漢、唐など、13の王朝がこの都市を首都としていました。また、西安はシルクロードの起点でもあり、世界に絹、茶、陶磁器などの中国の文化財を広めました。現在の西安は中国西部地域で最も発展した中心都市であり、人口は約1300万人で、64の大学を有しています。高等教育に重点を置き、学術的な雰囲気も濃厚です。私は西安の多くの学者と専門的な議

准教授 胡 青

論を交わし、中国特色社会主义市场经济体制の下で、中国の学者が注目する研究分野についてもより深く理解することができ、将来の研究において広い視野を持つことができました。この1年間の海外研究は私にとって非常に意義深く、今後の研究にこれらの学術的な経験を活かしていきたいと思っております。最後に、この貴重な海外研究の機会を与您提供いただいた本学に心から感謝しております。



西安工程大学構内にて

K.P.U. フェスタ2023

K.P.U.フェスタ実行委員会委員長
経済学科3年 八巻 柚葉

在学生の皆様、並びに保護者の皆様こんにちは。K.P.U.フェスタ実行委員会の八巻です。

数年続いてきた新型コロナウイルス感染症の影響も緩和され、感染症流行前の地域のイベントなどが再び開催されつつあります。それに伴い、釧路公立大学では、3年ぶりに一般の方々も参加することができる大学祭を開催する運びとなりました。普段、大変お世話になっている地域の皆様や企業の皆様にご参加して頂ける大学祭を企画できることを嬉しく思います。

さて、今年度の学校祭のテーマは「一期一会～タンポポのように広がる出会い～」です。このテーマは、タンポポの綿毛のように人の輪を広げ、より多くの学生と一緒に大学祭を作り上げていきたいという想いが込められています。

今年度の大学祭は、学内ステージでの音楽祭や大抽選会、

昨年度に引き続き花火の打ち上げなどを予定しています。大抽選会では、多くの豪華な景品を用意する予定なので、是非ご参加ください。

コロナ禍明け初めての大学祭となり、至らぬ点もありますが、皆様楽しんでいただけるような大学祭を作れるように尽力して参りますので、温かく見守っていただけますと幸いです。

重ね重ねになりますが、開催にあたり協力くださった皆様、普段お世話になっている地域の皆様、保護者の皆様、本当にありがとうございます。今後とも応援とご協力を宜しくお願い致します。



保 | 健 | 室 | だ | よ | り

新型コロナウイルス感染症が「5類」に移行したことで、学内での活動は、行動制限前の状態に、ほぼ戻りました。コロナ禍では、友人が作りにくい、遠隔授業の悩みなどが聞かれましたが、人と交流しやすい環境が戻ったことで改善が期待されます。

新たな環境で迎えた新学期ですが、昨年より、保健室利用が多くなっています。夏は涼しい釧路ですが、今年は気温25℃を超える日が多く、朝食や水分を摂取せずに登校し、授業中に体調不良となり来室する学生が多くなりました。また、眠れない、食欲がないなどの不調が続き、相談に来る学生も増加しています。中でも不眠は、生活リズムが乱れる原因となります。朝起きられないことで講義に出席できず、単位取得

に苦戦している学生も少なくありません。

本学では、臨床心理士の資格を持ったカウンセラーによる「心の相談」を月に数回実施しています。自ら来室し、相談を希望する学生もいますが、一人で悩みを抱えている学生もいる可能性があります。保護者の方も、生活の様子や体調面で気になることがある時は、保健室に相談するよう声をかけてみて下さい。少しでも安心して学生生活を送れるよう、お手伝いさせていただきます。

☆保健室の開室時間 9:00～18:00 (平日)

☆電話番号 (直通) 0154-37-5390

☆メールアドレス hoken@kushiro-pu.ac.jp

◎2023年度後期授業料の納入について

後期授業料は10月31日までに納めてください。ATMや金融機関での口座振込又は金融機関窓口にて同封の「振込依頼書」よりお振込みください。授業料の分割納入や減免を希望される場合は、受付期間に申請書を提出してください。

編集後記

釧路的には暑い日が続くなか、法人化してからの最初の学期が終わりました。走り出しながら細部を詰めていくということとくに関係する教職員は苦勞をされている様子です。次年度からは新カリキュラムが始動します。新しい教員採用人事のゆくえに加えて、入試の志願者数の動向も気になるところです。地域の明日へとつないでいくためにも、全国の研究教育関係者にも高校生にも魅力に感じてもらえるような大学にするべく、教員一同、研究にも教育にもいっそう切磋琢磨して、新しい革袋に新しい酒を入れていかなければと思います。(小)

釧路公立大学だより 第68号

2023年(令和5年)10月1日発行

◎発行元

釧路公立大学

〒085-8585 釧路市芦野4丁目1番1号

TEL 0154-37-3211

FAX 0154-37-3287

学生課: TEL 0154-37-5091

URL: <https://www.kushiro-pu.ac.jp/>

◎発行日

毎年2回(4月1日、10月1日)